

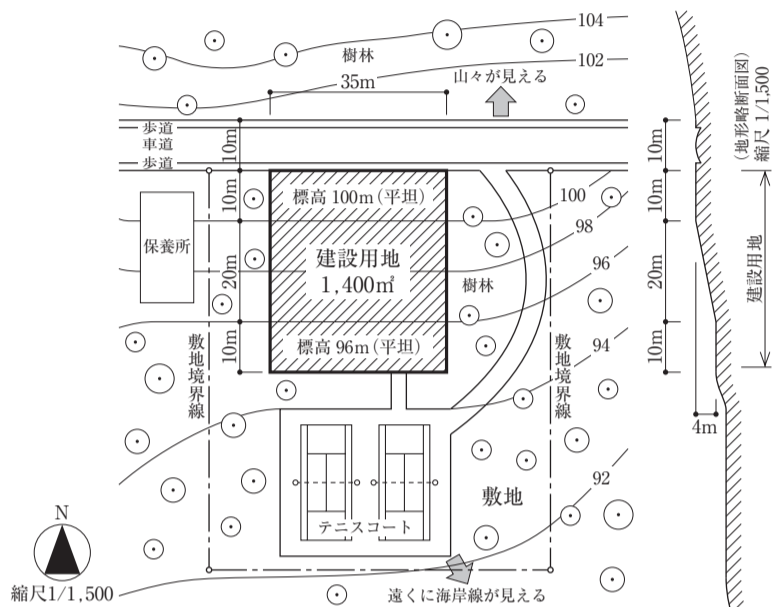
設計課題 小規模リゾートホテル

I. 設計条件

この課題は、周辺にレジャー施設及びスポーツ施設が点在する東南に海岸線、北に山々を臨む景勝地に宴会場を併せ持つリゾートホテルを計画するものである。本施設は、高齢者や車いす使用者の宿泊及び円滑な利用に配慮するとともに、周囲の景観を眺望として積極的に取り入れるものとする。また、計画に当たっては、環境負荷低減のため、自然エネルギーを利用し、快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を、積極的に取り入れるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうちリゾートホテルの建設可能な建設用地は斜線で示した部分である。
- 敷地は、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - 建ぺい率の限度は70%、容積率の限度は200%である。
 - 主要な屋根は、2/10以上の勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。また、敷地の造成は最小限に留めるものとする。
- 地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
この課題においての階の取り扱いは、敷地の標高100mの部分に直近の階を地上1階とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、1,800㎡以上、2,200㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段及び塔屋は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、全て計画する。

| 部門 | 室名 | 特記事項 | 床面積 |
|---|--|---|------------------------------------|
| 客室部門 | ・客室については、車いす使用者に配慮したバス、洗面台及び便所を設ける。 | | |
| | 客室A (ツインルーム) | ・8室(約30㎡/1室)設ける。 ・間口の幅は5m以上とし、バルコニーを設ける。 ・ベッド、テーブル、椅子等を設ける。 | 計約240㎡ |
| | 客室B (スイートルーム) | ・4室(約40㎡/1室)設ける。 ・間口の幅は5m以上とし、バルコニーを設ける。 ・リビングルーム、ベッドルームを設ける。 ・ベッド、テーブル及び椅子を設ける | 計約160㎡ |
| | リネン室 | | 適宜 |
| 共用部門 | 洗濯・乾燥室 | | 適宜 |
| | エントランスホール | ・風除室を設ける。 ・吹抜を設け、明るく開放的な空間とする。 ・ロビー、売店コーナーを設ける。 ・15人程度が利用できるカフェを設ける。 ・カフェにカウンター、テーブル及び椅子を設ける。 | 適宜 |
| | ラウンジ | ・エントランスホールに隣接させ、眺望に配慮する。 | 40㎡以上 |
| | レストラン | ・40人程度が利用できるようにする。 ・屋外テラスと一体的に利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・厨房、食品庫を設ける。 | 適宜 |
| | 大宴会場 | ・2室に分割して、それぞれ20人程度が利用できるようにする。 ・パーティー、セミナー等、多目的に利用する。 ・大宴会場の食事は、レストラン厨房で調理する。 ・レストラン厨房との動線に配慮する。 | 適宜 |
| | 中宴会場 | ・16人程度が利用できるようにする。 | 適宜 |
| | 小宴会場 | ・8人程度が利用できるようにする。 | 適宜 |
| | 浴室 | ・男性用、女性用、それぞれ10人程度が同時に入浴できるものとし、脱衣室に洗面コーナーを設ける。 ・眺望に配慮する。 | 適宜 |
| | バーラウンジ | ・15人程度が利用できるようにし、カウンターバーを設ける。 ・浴室との動線に配慮する | 適宜 |
| | 管理部門 | フロント | ・カウンター、クロックを設ける。 ・職員の仮眠スペースも含む。 |
| 事務室 | | ・4人程度が利用できるようにする。 | 適宜 |
| 厨房事務室 | | ・レストラン従業員の休憩室を兼ねる。 | 約15㎡ |
| 従業員休憩室 | | ・男性用、女性用として、それぞれ1室設ける。 | 適宜 |
| 備蓄倉庫 | | 約30㎡ | |
| 設備スペース | ・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。 | 適宜 | |
| ・便所、エレベーター、通用口、倉庫、ゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 | | | |

3. その他の施設等

- 屋外テラス(食事やパーティー等多目的に利用する。)は、ホテル利用者が使用するものとして、次のとおり計画する。
 - 地上に設けるものとし、まとまったスペースで80㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)を確保する。
 - 流し台、テーブル、椅子等を設ける。
 - テニスコートへの連絡口を設ける。
- 車回し及び車寄せを設ける。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、送迎用車両(1台当たり3.5m×6m)として1台分、車いす使用者用として1台分、サービス用として2台分を設ける。なお、施設利用者用及び職員用の駐車場は、近隣の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 各部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とともに、避難等に配慮する。
 - 建築物内の空間構成においては、建設用地内の高低差を有効に活用した計画とする。
 - 敷地の周辺環境に配慮した計画とする。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 斜面地を考慮した基礎構造、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。
 - 浴室の給湯設備は、熱源機器と貯湯槽からなる中央給湯方式とする。
 - 自然採光及び自然換気を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、必要に応じ、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

| 図面及び縮尺 | 特記事項 |
|----------------------|---|
| (1) 配置図 1/200 | <ol style="list-style-type: none"> 建設用地内における建築物の位置(ピロティ、屋外階段を含む。)及び主要な寸法を図示又は記入する。 建築物の屋根の形状(軒先、庇、バルコニー等は一点鎖線で図示する。)を図示又は記入する。 配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 車回し、車寄せ、駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ. 設備スペースを設けた場合は図示する。 ニ. 屋外テラスの面積、テーブル、いす等 ホ. テニスコートへの出入口 ヘ. 通路、植栽等 |
| (2) 地下1階平面図 1/200 | <ol style="list-style-type: none"> 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度) |
| (3) 1階平面図 1/200 | <ol style="list-style-type: none"> 室名等(客室の表示は、下記④ハ.による。) 要求室の床面積(専用面積を記入する。) |
| (4) 2階平面図 1/200 | <ol style="list-style-type: none"> 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 設備計画に応じた設備スペース 断面図の切断位置 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 |
| (5) 断面図 1/200 | <ol style="list-style-type: none"> 1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 客室については、次のものを図示する。 イ. 客室A、客室B、それぞれについて、代表的な1室の室内プラン ロ. 各客室の出入口 ハ. 客室Aの室名(A1からA8)、客室Bの室名(B1からB4) 切断位置は、南北方向とし、エントランスホールの吹抜けを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 採用した環境負荷低減手法について、必要に応じ、簡潔な文章や矢印等により明示する。 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 北側道路(標高100m)からの塔屋を除く建築物の高さ(平均G.Lは求めなくてよい。)、階高、天井高、地上1階及び地下1階の床高及び主要な室名を記入する。 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 |

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物のゾーニング及び動線計画について、考慮したこと
 - 客室の計画について、その配置計画及び動線計画において考慮したこと
 - 斜面地の高低差を有効に活用した計画について、考慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した「構造種別・架構形式」及び「スパン割り」について考慮したこと並びに、主要な「部材の断面寸法」
 - 勾配屋根の構造計画について、工夫したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物の省エネルギーにおいて、自然採光の促進、日射遮蔽及び空調エネルギーの削減について工夫したこと
 - 受変電設備、空調室外機及び浴室用の給湯・ろ過設備の設置位置について、考慮したこと
 - 排煙計画について、考慮したこと

平成29年 一級建築士設計製図 課題6 問題用紙